橋梁アセットマネジメントシステム の発展途上国実装研究

中間報告

2019 那須清吾(高知工科大)

社会実装の体制

【国内:高知県のアセットマネジメント】

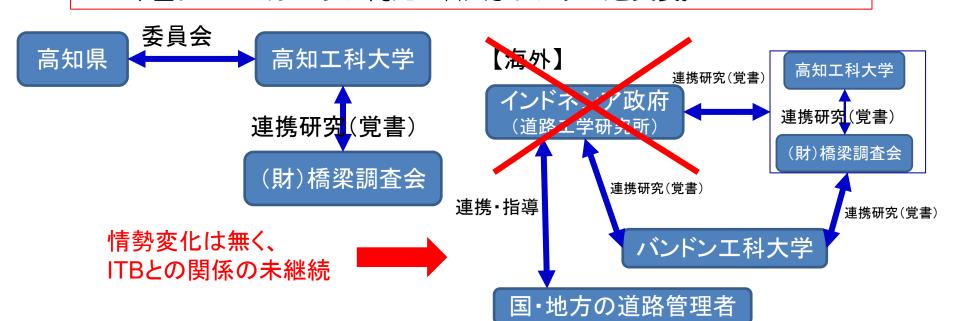
- 体制:高知工科大学は継続して高知県と協働で高知県アセットマネジメント委員会を維持する。
- <mark>活動</mark>:メインテナンスサイクルおよびアセットマネジメントサイクルを継続的に検証しシステム改善を 実施するとともに、アセットマネジメントシステム研究の場として高知県と連携する。

【海外:インドネシアのアセットマネジメント】

- <mark>体制</mark>:高知工科大学、バンドン工科大学、インドネシア政府・道路工学研究所の3者がMOU・MOAを締結し、導入するSIPアセットマネ ジメントシステムおよび点検システムを継続的に運営する。
- 活動:インドネシアの国・地方の道路施設へのアセットマネジメント・点検システム導入を本格化する。

インドネシア政府道路工学研究所(IRE)にシステムの詳細説明による技術移転を受けて、公共事業省に全体システムのパフォーマンス確認を待っている。

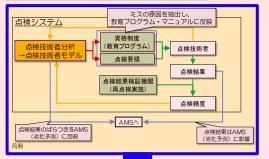
⇒米国フレームワークに高知工科大学システムを実装。



■アセットマネジメントシステム(全体)

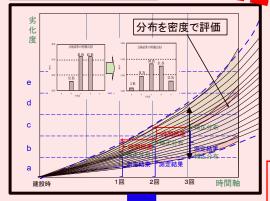
【GISデータベース】

【点検制度・能力改善】

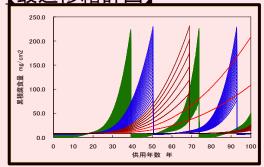


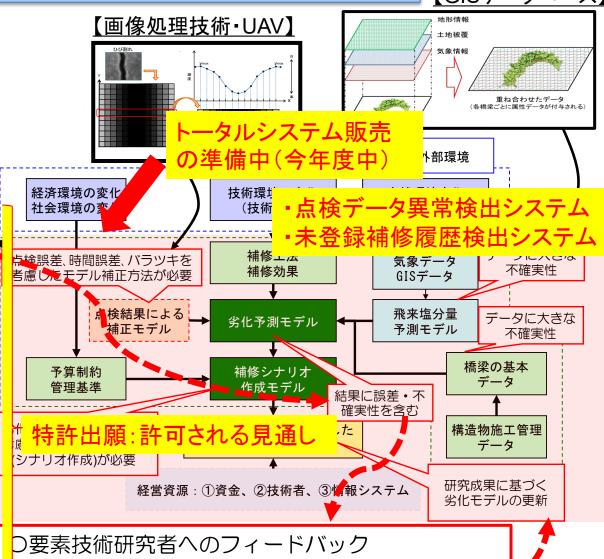
【点検データの誤差補正】

【予測精度改善】



【最適修繕計画】

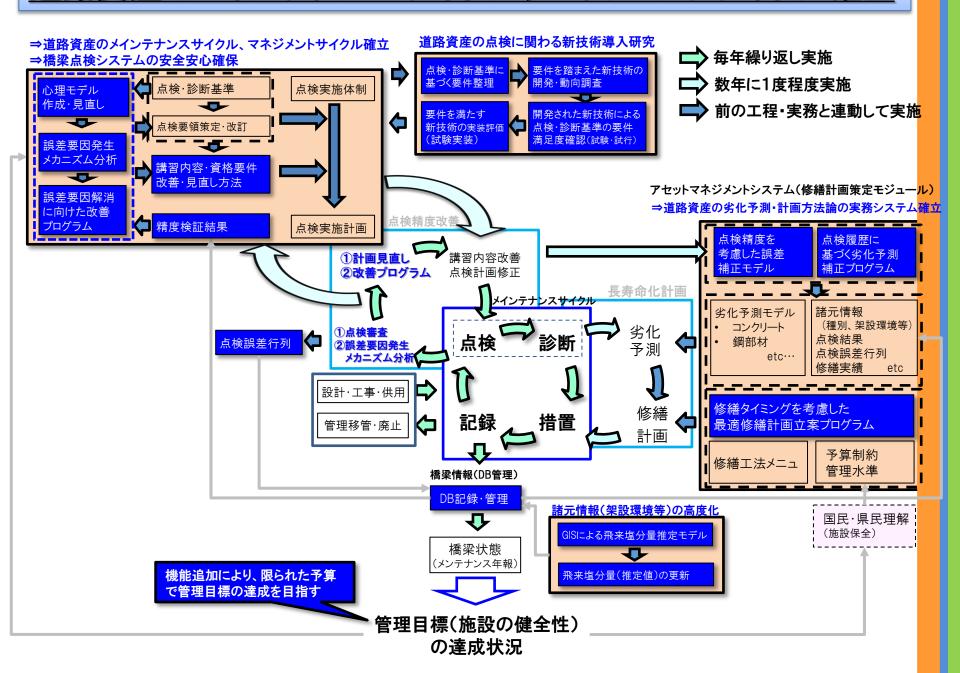




)要素技術研究者へのフィードバック 精度改善された情報が要素技術研究者の 研究活動を促進(物理的劣化予測モデル研究)

★制度・基準類・点検方法など

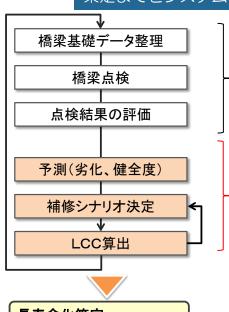
道路資産のメインテナンスサイクル、マネジメントサイクル確立



点検誤差を考慮した劣化予測・最適LCC算出モデルの構築

現在までの進捗と成果の概要

高知県DBからデータを読み込み長寿命化 策定までをシステム化した。

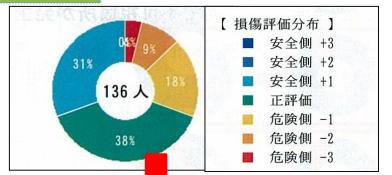


橋梁諸元(材料、環境 条件等)と過去の点検 結果から現在の橋梁の 劣化状態を解析する。

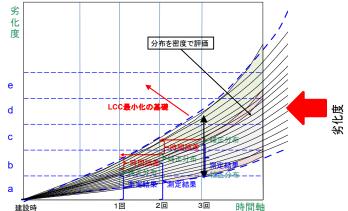
現在の橋梁の劣化状態を把握した上で劣化予測、補修シナリオ、最適LCC算出を行う。

専門家と職員の点検結果を比較し点検誤差モデルを作成し、 劣化予測モデルに反映できるシステムを構築した。

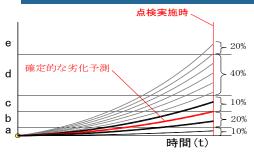




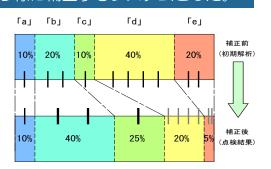
長寿命化策定



確定的な劣化予測をばらつかせ、劣化予測の濃さ(密度)を点検誤 差を考慮した点検結果の分布に合う様に補正するシステムとした。



劣化曲線間の間隔は均等にばらつくため、 実橋の劣化曲線間と異なり、分布が異なる

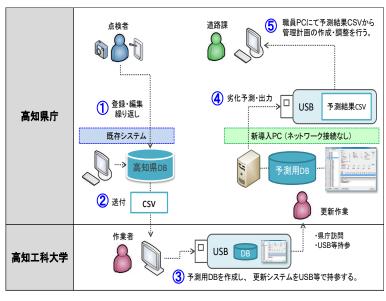


点検誤差を考慮した劣化予測・最適LCC算出モデルの構築

点検分布と整合した現状の劣化状態を把握した上で将来劣化予測 と最適LCCとなる補修シナリオを策定するシステムとした。

過去の補修履歴からの劣化予測 過去を反映した劣化予測 60年:損傷cの劣化は継続 59年:断面修復で補修済(任意入力) 損傷e 60年:損傷e.dの筒所を補修する。 82年:劣化が補修レベルまで達し 500.0 (工法、補修量、費用は次頁参照) 83年: 損傷e,dの箇所を補修すると LCCが最適 (予測) (mg/cm2) 300.0 97年:59年の補修を再補修すると LCCが最適(予測) 補修レベル:e 累計腐食量 損傷d 劣化が早い筒所 100.0 損傷b 65 1950年 2008年点検実施(次頁参照)

高知県庁と導入方法について協議を重ね、試行導入を行った。

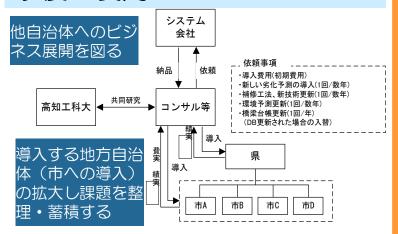


今年度末の見通 (国内)

今年度の見通し(達成目標)

- 高知県アセットマネジメントシステムにおける物理的劣化モデル の改善のマネジメントサイクルの中での方法論を実装。
- 高知県アセットマネジメントシステムにおける<mark>最適補修計画策定の実用性</mark>に関わる基本的課題の検証を踏まえて、予算制約の中での計画策定の仕組みの基本的課題を整理、
- 高知県でのアセットマネジメントの実装プロセスを踏まえて、地方自治体における組織的課題を整理。

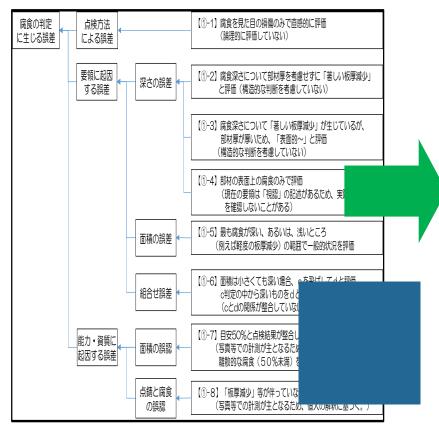
今後の展開

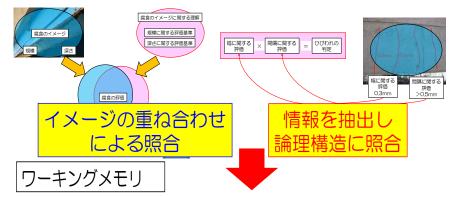


道路資産のメインテナンスサイクル、マネジメントサイクル確立

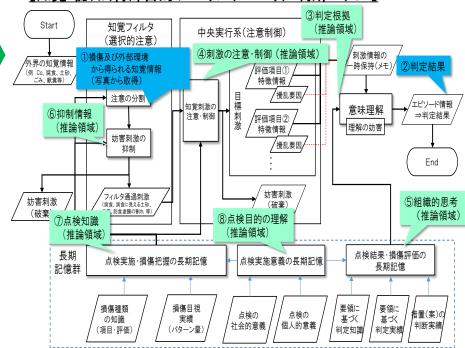
現在までの進捗と成果の概要

腐食の誤差要因





【知覚・認知(特殊目的ワーキングメモリ)・判断モデル】



今後の展開

【国内】高知県で継続的な取り組みを実施し、精度改善効果等を引き続き検証し、マネジメントサイクルの進化・継続改良を進める。自治体(市町村等)への展開ニタリング

ご相談

インドネシアはカウンターパートが消滅。再開の見通しが無い。

・国内ではシステム販売(事業化)の見通し。

•取得特許は、解放を検討中。

海外展開は民間ベースでも検討中。